

目次

第1章

戦略の策定にあたって

1	生物多様性地域戦略策定の背景	2
	(1) 生物多様性とは	2
	(2) 生物多様性保全の重要性	3
	(3) 国内外の動き	4
2	奄美大島生物多様性地域戦略の目的と位置づけ	6
	(1) 戦略の目的・性格	6
	(2) 戦略の位置づけ	6
3	戦略の体系と事業展開の考え方	7

第2章

奄美大島の生物多様性の特徴

1	生物の多様性が高い	12
2	固有種が多く存在する	13
3	奄美大島の特異な気候が生んだ希少な動植物が存在する	15
4	人と自然との関わりの中で培われてきた自然がある	16
5	世界的に重要な生物多様性に富んだ自然がある	17

第3章

奄美大島の生物多様性の保全及び利用上の課題

1	開発や自然の過剰な利用などの人間活動による影響	20
	(1) 生息・生育環境の改変や生物の盗採に起因する課題	20
	(2) 配慮不足の自然利用に起因する課題	20
	(3) 自然の管理方法に起因する課題	20
2	人間活動と自然の関わりへの減少による影響	21
	里地・里山の機能の劣化に起因する課題	21
3	人為的に持ち込まれた生物や物質による影響	22
	(1) 外来生物による影響に起因する課題	22
	(2) 環境汚染による影響に起因する課題	23
4	地球温暖化にともなう環境変化による影響	24
5	人の意識と社会経済の変化による影響	25

第4章

基本的事項と目標

1 基本的事項	28
(1) 対象区域	28
(2) 計画期間	28
(3) 基本理念	28
(4) 基本方針	28
2 目標	29
(1) 短期目標（10年後、2024年の奄美大島の姿）	29
(2) 長期目標（50年後、2064年の奄美大島の姿）	30

第5章

重点施策

[重点施策1] 希少野生生物の保全活動及び生物多様性一般化事業	33
(1) 希少動植物保護条例の適正な運用と保全活動の展開	33
(2) 生物多様性モニタリング調査及び情報収集	33
(3) 環境学習拠点の整備及び環境学習の充実	34
(4) 生物多様性保全ネットワークの構築	34
[重点施策2] ノネコ、ノヤギ及び外来生物対策	35
(1) ノネコ対策、野生化ヤギ対策の事業展開	35
(2) 外来生物対策	36
[重点施策3] 奄美大島環境文化・自然再生フィールドミュージアム事業	37
(1) 森林、里海、マングローブ再生モデル事業	38
(2) 自然と人が共生する環境文化の継承活動	39
(3) 奄美大島・環境文化情報拠点整備	39
[重点施策4] 奄美大島・生物多様性自然遊歩道整備事業	40
[重点施策5] 里のエコツアー拠点整備事業	42
[重点施策6] 産業振興と生物多様性保全事業	43
(1) 新・観光マスタープランの策定と体験型観光の推進	43
(2) 6次産業化と生物多様性推進事業	43
[重点施策7] 交流と情報発信	44
(1) 奄美大島自然大使の創設	44
(2) 世界自然遺産登録地域との交流	44
(3) 国際交流の推進	44
(4) 大学、研究者との交流	44
(5) 情報発信	45
[重点施策8] 奄美群島環境文化研究拠点の誘致	46

第6章

行動計画

基本方針 1 生物多様性の保全・管理	49
1 重要な地域の保全	49
2 生態系ネットワークの形成	50
3 野生生物の適切な保護と管理	51
(1) 希少野生生物とその生息・生育地の保全	51
(2) 鳥獣の管理	52
(3) 外来生物の防除	53
4 地球温暖化対策の推進	54
5 環境影響評価制度の検討	54
6 生物多様性の保全に配慮した環境整備の推進	55
(1) 公共工事等に関する取組	55
(2) 山地・森林における取組	56
(3) 農村における取組	56
(4) 市街地における取組	57
(5) 河川・沿岸・海岸における取組	57
基本方針 2 人と自然が共生する社会を構築するための仕組み作りと人材育成	58
1 多様な主体の参画促進	58
2 人と自然が共生する社会を構築するための活動の推進	59
3 人材の育成と活用	60
4 調査研究の推進と情報の収集・発信	61
基本方針 3 持続可能な生物多様性の利用	62
1 生物多様性の保全に配慮した暮らしの展開	62
2 生物多様性の保全に配慮した農林水産業の展開	63
(1) 林業における取組	63
(2) 農業における取組	64
(3) 水産業における取組	65
3 里地、里山、里海の適正な利用と管理	66
4 生物多様性の保全に配慮した観光業の展開	67

第7章

推進体制と進行管理

1 戦略の推進体制	70
2 戦略の進行管理	71
(1) 進捗状況の把握及び公表	71
(2) 戦略の見直し	71
3 各主体の役割	72
(1) 奄美大島・生物多様性推進協議会（仮称）・市町村	72
(2) 事業者	72
(3) 住民・来訪者	73
(4) 環境 NPO など各種活動団体	73
(5) 学術・研究機関	74
(6) 教育機関	74

第8章

資料編

1	奄美大島における希少野生動植物指定の状況	76
2	既存資料により奄美大島で確認されている外来種	77
3	奄美大島の重要湿地	78
4	奄美大島の干潟	79
5	文化財の指定状況	80
6	奄美の民謡（島唄）に現れる自然	81
7	奄美の歴史年表	83
8	奄美大島における自然ふれあいの機会	85
9	奄美大島における主な自然ふれあい関連施設	86
10	奄美大島生物多様性地域戦略 策定経過	87
11	関係者名簿	89
12	関連事業	90

参考資料

奄美大島の概要	8
世界自然遺産登録へ向けた行政の取り組み	10
奄美大島で見られる代表的な奄美固有種	14
外来生物とは	23
アラセツ行事	25
奄美大島における各種指標の変化	26